

日本一低い山・日和山と、野鳥の舞う蒲生干潟

仙台湾に面した海沿いにある蒲生干潟は、七北田川河口から北に向かって広がる入り江に出来た干潟である。北は仙台港、南に南蒲生浄化センターがあり、淡水と太平洋の海水が混じりあう複雑な環境に適応した動植物が数多く生息している。干潟の手前には、蒲生海岸のランドマークで標高 3m という日本で最も低い山である日和山ほか、砂浜、潟湖、塩性湿地、クロマツ海岸林といった“地域資源”が集積している。日本一低い標高 3,000 mm の低山・日和山の所在地は宮城県仙台市宮城野区蒲生。14年前、東日本大震災で津波の被害にあった場所である。

トップ頁で説明しましたが、日本一に返り咲いた日和山の歴史は諸説あるようです。

江戸時代の寛文年間に、塩竈湾から蒲生まで舟入堀(後の貞山運河の一部に相当)が開削された。この時に掘り起こされた土砂によって日和山が築かれた。

そして、明治42年頃、蒲生の住民が海辺の観測と、海からの目印として利用するために日和山を築いたと言われている。この説では 1913 年(大正 2)と 1919 年(大正 8 年)に更なる土盛りが実施されたとされる。

大正時代に築かれたという説では大規模な養魚場を建設する為に土が掘り返され、その土砂により日和山が築かれたそうです。

日和山の名は海の状態を観察(日和見:ひよりみ)することに由来している。当時は主な産業の一つが漁業であったことから、漁師が海上からの目印として確認できるよう築かれたとも言われている。

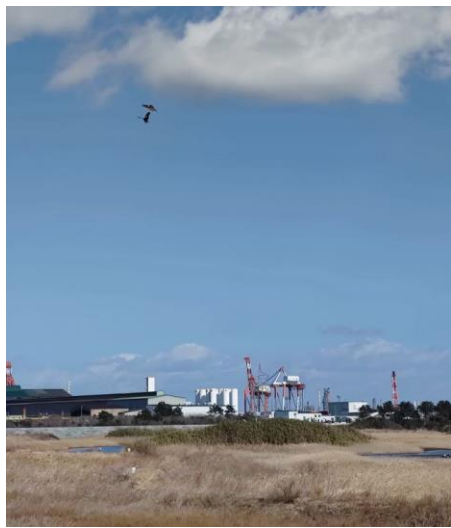
日和山はかつて標高 6.05 メートル、南北約 40 メートル、東西約 20 メートルの山体だった。数本のマツが山に植えられ海側への眺めが良く、初日の出の名所でもあった。

1991 年(平成 3 年)、国土地理院の職員が、高い山の序列がある一方で低い山の序列がないことを鑑み、地形図に乗っている山を調査した。1992 年(平成 4 年)、日本地図センター発行の『地図ニュース』において蒲生の日和山(当時の標高 6.05 メートル)が日本最低峰であると取り上げられ、蒲生では「日本一低い山」としての山開きイベントが行われた。

ただし、大阪府大阪市の天保山が、いわゆる「山」としての形は成していないとはいえ二等三角点もあり、標高 4.5 メートルで日本最低峰であるとの異説も唱えられた。天保山の山名は 1993 年(平成 5 年)に地形図から消えたが、1996 年(平成 8 年)に再掲載されて日本最低峰とみなされるようになった。このため、蒲生では日和山を「元祖 日本一低い山」と称するようになったそうです。それが日本一に返り咲いた経緯はトップ頁でご紹介した通りです。



蒲生干潟の遠景をご覧ください。



北側発電所風景



堤防上から①



堤防上から②



堤防上から③



日和山全景



野鳥のひなたち



笑える看板



震災前の蒲生干潟

登山口では「クマ出没注意！」と注意喚起の看板があり、14 段という登山道の間地点には落石注意の看板も！と思いきや…… 登山開始から 180 秒で日和山を制覇！ 無事遭難せずに下山でき、太平洋のキラメキに癒される登山が約束されています。

(取材:東北支部 喜多見さん)